

# 令和5年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

加古川市立志方中学校

**1 教育目標**

人の心がわかる あたたかみのある人づくり

**2 基本方針**

人権尊重の学校文化を築き、主体的に学び、思いやりのある、心身ともに健やかな生徒を育成する

**3 指導目標**

(1)「確かな学力」を培う                      (2)「健やかな体」を養う                      (3)「豊かな心」を育てる                      (4)適切な進路選択と継続した指導の充実  
 (5)特別な支援や配慮を要する子どもへの教育の推進                      (6)組織的な運営体制の確立                      (7)教員の資質向上をはかる  
 (8)学校・家庭・地域との連携の強化

達成状況の評価基準    A:できている    B:だいたいできている    C:あまりできていない    D:できていない    E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
学習指導の充実	主体的・対話的で深い学びの視点を持った授業への改善	A	協同的探究学習の手法を取り入れた授業実践をさらに推進し、研修や研究授業も積極的に行う。また、学校全体で生徒に向き合う風土を大切にし、個に応じたきめ細かな指導も行っていく。
道徳教育の深化 人権教育の充実	いじめや不合理を許さない心の育成	A	全ての教育活動において、道徳的感覚や人権感覚を養えるよう、継続して心の育成に取り組む。お互いに認め合える学年・学級を作れるよう学活や総合的な学習の時間を有効活用する。
生徒指導の推進	内面的理解を基盤に、心にひびく指導と教育相談の充実	A	普段からの言葉がけに気をつけ、傾聴の姿勢を大切にし、生徒とのコミュニケーションをさらに図る。また、アセス等を活用し、生徒に寄り添った教育相談に職員一丸となって、継続して取り組む。
地域に開かれた 学校づくりの推進	学校運営協議会を中心とした、家庭・地域との連携の強化	A	さらなる情報発信を行い、家庭や地域との協力体制づくりを促進していく。また、家庭・地域・学校運営協議会との連携を図り、地域ぐるみの学校運営体制を拡充させる。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
協同的探究学習の研究推進校として、主体的・対話的で深い学びの授業実践や研修をすすめていることがわかった。これからも教員の資質向上に向けて研究と研鑽に継続して努めてほしい。	A
生徒がお互いに認め合える学年や学級づくりに努力しており、人権学習や道徳教育によく取り組んでいるので、継続して心の教育に取り組んでほしい。	A
学校生活のすべてが生徒指導とつながっているため、傾聴の姿勢や言葉づかいなど、生徒との関わりを大切にしながら、生徒に寄り添える環境づくりに継続して取り組んでほしい。	A
いろいろな場面で開かれた学校運営に努め、地域と学校が、課題や情報を共有しながら学校運営できる体制づくりを継続して進めてほしい。地域として学校からの要望があれば、協力できるよう努めていきたい。	A